

困、青年團、婦人団体等に五千枚のビラを作成郵送しストに對する諒解を求  
むることとした、かくて暴徒のストを目標に暴徒的情勢を有利に展開すべく首腦  
部仲死的は努力を拂ひつゝある、今や一般の輿論は電氣局の余りの無罪なる彈  
丸に對して非難の聲漸く昂まり、内容が判明するにつれて同情は益々濃厚として  
吾々に集りつゝあり、首腦部は更に此の市民の同情を一層高めべく更に努力を  
んとして居る、而して断の指令も前にたの如く指令する、

一 スカフアに對しては部下労働団体を一切引受けた危険分子は前者より注意して  
四圍リ

一 ストの引揚げに際して概ね器用に手を廻れぬ様、監視應より注意があつた彈  
圧の口實をうへぬ様注意せよ

一 断の指令も愈々近づいた余支那共断争として統一行動を準備を引きこめて待つて、  
一 日争が自熱化するのと支配階級が裏切者から色々のデマが出るが首腦部と絶  
對信頼してデマに集るな

一 断の指令も待つて  
以上

昭和九年九月四日（午後二時）

警視廳特別高等警察部労働課



市電争議ニ關スル情報（第一三報）

一 友誼團體ノ態度

(一) 東京市従業員組合

三日午後七時ヨリ今十時迄本部ニ於テ中央委員會ヲ開催  
本委員以下十七名集合

議事トシテ

(一) 市電争議應援ニ關スル件

(二) 市長並ニ電氣局長ニ對シ別記ハ勸告又テ送ルコト

(三) 應援ニエースヲ發行スルコト

(四) 市電争議應援團會議ノ委員ヲ決定シ對外的活動ニ努力